

経済倶楽部便り

◆東京◆ 4月は年度初めでもあり、通常の講演録に加えて、2019年度の事業報告書の作成にも時間を割かれます。その一方、新型コロナウイルスでの講演会は引き続き中止され、講師の方には会議室において座談形式でお話頂きました。東洋経済新報社が原則、在宅勤務になり、ビルが閉鎖されていることから、講師の方にはビル裏側から入館頂く異例の措置をとりました。

新会員をご紹介します。3月はヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ会長の菅野隆二氏、4月は、島津製作所産業機械営業部参事の

谷口正人氏、日東カストディアル・サービス取締役の北浦康雄氏、小倉俊朗氏の方々です。

6月の講師はジャーナリストの佐々木俊尚氏、第一生命経済研究所首席エコノミストの熊野英生氏、双日総研チーフエコノミストの吉崎達彦氏、名古屋商科大学教授の原田泰氏です。

◆中部◆ 講演会は4月もコロナウイルス対応で中止としました。愛知県でも10日になって独自に緊急事態宣言が出されました。そのためもあり、通常、会場になっている名古屋国際ホテル、東京第一ホテル錦とも会合や集会のキャンセルが相次いでいる状況でした。

6月の講師は東洋英和女学院大学客員教授の中岡望氏、拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏を予定しています。

(日暮良一)